

伊豆市議会議員

市政報告

小長谷順二 通信

Vol.17 2016.12



ごあいさつ

私にとって今回の二期目の市議会選挙で、多くの皆様の支持を得て当選させて頂きました事、誠に心が引き締まる思いであります。一期4年の活動を通してやはり「行動」することがなにより大切だと実感しております。協議や検討を繰り返すことも大切ですが、やはり積極的に行動することで地域の皆さんとのネットワークができ、全ての結果につながると思います。地域のネットワークは、足を使ったフットワークがあってこそ！地域の皆様と同じ目線で物事を捉えることが、より良い政策のカギとなると考えております。“生まれ育ったまち”のために、慣習や前例にとらわれる事なく、市民の皆様の立場で考え、自らの信念を貫きながら、出来る事を悔いのない様、若さと行動力をもって活動し、全力で市政の改革に取り組んでまいります。今後とも地域の皆様と共に「ふるさと伊豆」を誇れるまちに変えていきましょう。

『誠実・行動・実行力』で大切なふるさとの為に働かせて頂きますので、地域の課題やお困りのことがございましたら、お気軽にご相談下さい。これからも何卒宜しくご指導下さいますようお願い申し上げます。

平成28年第4回 伊豆市議会定例会（平成28年11月28日～12月19日）

議案第105号 平成28年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）3億2,598万円 否決

本会議最終日（12/19）、議案第105号 平成28年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）に対する修正動議が議員9名の連名で提出、修正案が採択されました。

企業誘致で2011年から市役所天城支所の一部に工場兼店舗を構えるグランバー東京ラスクが業務拡大の為に建物全体を使用したいとの要望に答える為に、天城支所を旧湯ヶ島幼稚園に移転する為の改修費5,000万円、旧湯ヶ島小学校プール跡地駐車場整備工事費1,800万円を認めないものです。この結果東京ラスクは店舗の増設が出来ず商業施設プロジェクト整備計画は頓挫しました。ラスク社長の事業説明では新規雇用110人、来店客数年36万人。地産地消型の食堂(仮称)おかーちゃん食堂や団体対応型レストランも新設。既に行われている地場産品を販売する天城マルシェは規模を拡大し、地元優先で店舗を募るなど地域に貢献できる施設にしたいと述べました。反対の理由としては、説明不足や住民の合意が得られていないなどでしたが、この事業は、合併特例債を活用し、市山地区は東京ラスクを中心に観光商業地区、宿地区は湯ヶ島幼稚園を支所に整備、湯ヶ島小学校の改修、営林署跡地の公園の整備など「しろばんばの里」として湯ヶ島地域のにぎわいを創出するものです。東京ラスクの今後の動向も心配です。住民のご意見も取り入れながらご理解をいただき、臨時会で当局よりの修正議案の提出を強く望みます。



▲旧湯ヶ島幼稚園



▲湯ヶ島地区全体構想



▲天城支所（左）・東京ラスク（右）

小長谷順二の一般質問（第4回定例会 平成28年11月30日）

光ファイバ網の整備完了にともなうICTの活用施策 [答弁 市長・教育長]

Q 光ファイバ網を活用した企業誘致、空き家対策とICTを活用した教育支援について

A 合併特例債を活用してようやく今年度で光ファイバ網の整備が終了します。伊豆市でビジネスを行いたいという問い合わせは多いが、空き家の提供がほとんどないのが現状なので、宅建業界の方々と、どのようなシステムを構築したら良いのか検討を行っています。首都圏のベンチャー企業は伊豆市内の環境の良い場所を移転先として求めているので国や県と連携しながら企業誘致を行っていききたい。

情報コミュニケーション技術教育として平成25年6月に閣議決定され、ICTの新たな学びの推進が明記されました。土肥義務教育学校に於いて魅力ある授業づくりの一環としてICTを活用した授業づくりをめざし、ICT環境の整備と教員研修等の充実に取り組んでまいります。また現在計画している新中学校の建設計画でもICTの活用を推進する計画です。

地域づくり協議会設立と地区要望の課題解決について [答弁 総合戦略部長]

Q 地域づくり協議会設立と地域の課題解決の手段の一つである「ふるさと納税寄附金」の使いみちとして有効活用される事業の一つ「地域づくりの為の事業」について

A ふるさと納税の寄附金を財源として地域づくり協議会が行う活動を指定して寄附する事が出来る制度で、指定された寄附金はいったん基金に積み立てその一部を地域づくり協議会上限の500万円の交付金に上乗せして交付されるので、地域づくり協議会の事業の幅が広がり、地域の課題解決に有意義なものと考えています。

地熱発電の可能性について [答弁 市民部長]

Q 地熱資源開発調査事業助成金を活用し、南伊豆町では平成22年度から地熱発電の調査・研究を行っています。伊豆市の地熱発電の可能性についての見解を伺います。

A 地熱発電については風力・水力とともに貴重な再生エネルギーだと思っています。地熱発電所は全国で、1都1道7県、18箇所と聞いております。いずれも火山帯に建設されており多くの温泉地を持つ伊豆市については熱源が存在する可能性があると考えていますが、事業化については年数がかかり事務も複雑ですので、南伊豆町の状況も見守りながら今後研究をしていきたいと思っています。

議会改革推進特別委員会を設置

伊豆市議会はこの11月1日に新たな体制でスタートしました。新体制のもと、平成28年4月1日より施行した議会本来の在り方、議会運営の理念や根本の規定を定めた議会の最高規範となる「伊豆市議会基本条例」を念頭に置き、議会の役割である行政を監視することはもちろん、議員一人ひとりが市民の代表であるとの自覚に立って、市民の皆様の声を聞き、市民と共に豊かなまちづくりを進めていくことが大変重要であると考えております。議会改革推進特別委員長として議会改革に取り組んでまいります。

第16回
小長谷順二 市政報告会開催
平成29年 1月12日(木)PM7時～
伊豆市土肥支所 4F集会室

ブログ・facebook
更新中！！

小長谷順二 検索

小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400

<http://konagayajunji.web.fc2.com/>
Email photo-ko@vcs.wbs.ne.jp